

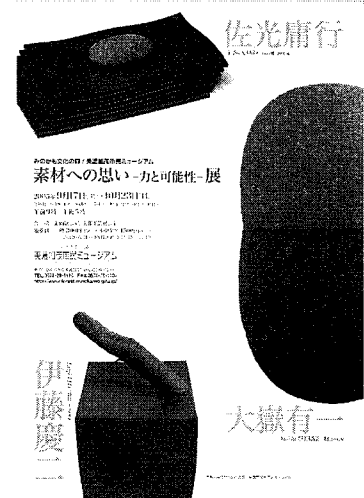
素材への思い-力と可能性-展

(1) 趣 旨

美濃加茂市民ミュージアムでは、開館以来、「この地ゆかりの作家たち」「芸術と自然」という2つのテーマのもとに、作家たちの活躍を広く紹介してきました。

本展は、石の魅力にひかれて、数多くの石彫作品を多く残した佐光庸行（1941～1995）と、素材に向き合い、かたちの追求に時を費やす、土の伊藤慶二（1935～）を、鉄の大嶽有一（1949～）を紹介しました。

素材の可能性を信じて生まれた三人の作品とそれぞれの作家の世界をより深く理解する機会になったことと思います。



(2) 会 期 2005（平成17）年9月17日（土）～10月23日（日）＜31日間＞

(3) 観 覧 料 一般300円（150円）、小中学生150円（100円）

（ ）は20名以上の団体料金及び、かるちすくらぶ料金

(4) 会 場 企画展示室／美術工芸展示室

(5) 関連事業

①ミュージアムフォーラム 佐光庸行の仕事-作品と人を語る

佐光庸行の彫刻家としての仕事と人柄について、スライドによる作品紹介を交えつつお話しいただきました。

（2005（平成17）年10月2日（日）14:00～15:30／会場：緑のホール／参加料：無料／講師：糸魚川淳二氏）

②ワークショップ 土とたわむれる

土と遊ぶ中で偶然できるかたちを生かしながら、創作の手を加えて作品にしました。

（2005（平成17）年9月23日（金）13:00～16:00／会場：工芸室／参加料：500円／講師：伊藤慶二氏、大嶽有一氏）

③ミュージアムトーク 素材への思い-力と可能性-展 作品鑑賞会

当館学芸員が展示室を案内しました。

（2005（平成17）年9月18日（日）・10月8日（土）11:00～12:00・14:00～15:00／会場：企画展示室・美術工芸展示室／参加料：企画展観覧料）

(6) 図録

素材への思い-力と可能性-展 A4判 16頁 500円

